



アドビシステムズ株式会社が 日本テクノ・ラボ株式会社と CPSIのライセンスを締結

【1997年10月2日】

アドビシステムズ株式会社（本社：東京都渋谷区 代表取締役社長：木村 八郎）は、日本テクノ・ラボ株式会社（東京都中央区日本橋大伝馬町10-6 代表取締役 松村 泳成）とCPSI（Configurable PostScript Interpreter）におけるライセンス契約を正式に締結したことを発表致しました。

日本テクノ・ラボ株式会社はUNIX™、Windows®のデバイスドライバおよびミドルソフトウェアの開発会社で、各種カラーコピー機、カラープリンタ用プリンタサーバソフトウェアの開発実績を持っています。この度、同社の新製品Web対応のWindowsNT™ベースの「Mistral Print Server」のRIPエンジンにアドビシステムズ社のCPSIを標準搭載する目的でライセンス契約の合意がなされ、正式に契約が成立いたしました。

Mistral Print Server は、WindowsNT サーバにアドビシステムズ社のPostScript® InterPreter を搭載し、Macintosh™やWindows、UNIXなどの異なるクライアント環境における、ドキュメントおよび印刷の管理をWeb上で行えるようにしました。Mistral Print Serverはプロフェッショナルユーザ向けのカラー複写機から、一般ユーザ向けの低価格インクジェットプリンタまで多岐に渡るイメージ入出力機器をサポートし、効率的かつ高品質なプリンティングのワークフローを実現します。

この度のCPSIに関するライセンス契約の締結によって高品位なドキュメントを作成し印刷するための標準技術であるページ記述言語Adobe PostScriptとの親和性が高まるとともにアドビシステムズの提唱する Portable Document Format によるプリンティングソリューションへの迅速な対応も可能になりました。今後カラーを含むデジタルドキュメントによるwebでの情報配信とネットワークプリンティングが普及することが予想されアドビ社のAdobe PDF®とPostScript 3との連携という観点からも、今回のCPSIのライセンス契約は、重要な意味を持っています。



Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)は、1982年に創設され、米カリフォルニア州サンノゼの本社を拠点に活動を展開しています。アドビは電子メディアによる書類の作成・表示・印刷・伝送などを実現するソフトウェアやコンピュータ技術の研究開発を行っています。自社技術をコンピュータ機器や印刷機材の大手メーカーへライセンス供与するほか、コンピュータで利用可能なフォントやアプリケーションソフトウェアの開発も行い、ヨーロッパと環太平洋地域の拠点からの販売網を通じて世界各地に製品を提供しています。アドビシステムズ株式会社は、1989年に設立されて以来、世界中の製品メーカーとの協力により、日本市場向けポストスクリプト製品の開発に携わると共に、Adobe Illustrator®、Adobe Photoshop®、Adobe PageMaker®、Adobe Acrobat®をはじめとする各種アプリケーションや書体の開発、販売、サポートを行っております。

Adobe、Adobeロゴ、PostScriptおよびPDFはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。UNIXはX/Openカンパニーリミテッドがライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標でありWindows NTは同社の商標です。Macintoshは米国およびその他の国で登録されているApple Computer, Inc.の商標です。その他全てのブランド名および製品名は個々の所有者の登録商標または商標です。